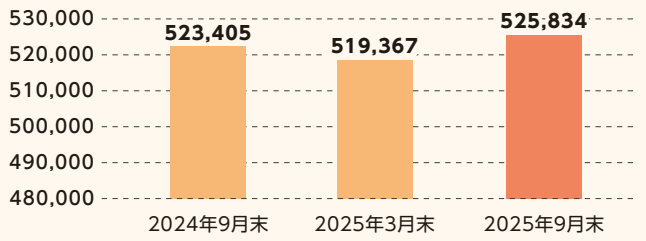
2025年度上半期の業績

■ 預金積金の状況

事業資金等の受け入れから主に一般法人の普通預金が増加しており、公金預金の受け入れもあったことから前期比64億円(同比率+1.24%)の増加となりました。

●預金積金の残高推移

(単位:百万円)

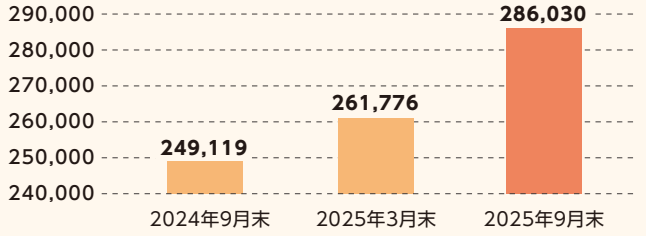


■ 貸出金の状況

金融業・保険業や不動産業、卸売業・小売業向けを主として事業者向け貸出が増加しています。また、個人向け貸出も住宅ローン、消費者ローンが増加したこと等から、前期比242億円(同比率+9.26%)の増加となりました。

●貸出金の残高推移

(単位:百万円)



●貸出金の業種別内訳

(単位:百万円)

	2024年9月末	2025年3月末	2025年9月末
製造業	11,294	16,734	18,429
農業、林業	36	24	38
建設業	14,921	15,616	15,762
電気・ガス・熱供給・水道業	354	330	301
情報通信業	253	304	330
運輸業、郵便業	3,211	3,113	3,997
卸売業、小売業	10,546	12,403	15,023
金融業、保険業	22,770	23,067	31,729
不動産業	73,223	75,521	78,456
物品賃貸業	468	600	906

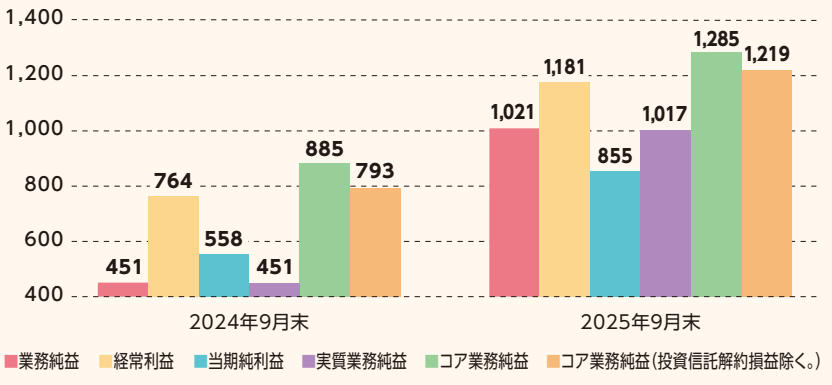
	2024年9月末	2025年3月末	2025年9月末
学術研究、専門・技術サービス業	910	889	864
宿泊業	22	21	19
飲食業	3,305	2,991	3,423
生活関連サービス業、娯楽業	1,902	1,926	1,775
教育、学習支援業	962	895	825
医療、福祉	10,306	11,572	13,140
その他のサービス	5,801	6,467	7,814
地方公共団体	12,020	11,399	13,580
個人	76,807	77,895	79,610
合計	249,119	261,776	286,030

■ 収益の状況

2025年度上半期の損益の状況は、主に貸出金利息や預け金利息が増加したことにより業務収益が増加しました。また、預金利息が増加したものの、有価証券運用に係るその他業務費用、経費が減少したことで、業務費用は減少しました。その結果、業務純益、経常利益、当期純利益は前年同月比で大きく上回ることができました。

●収益状況の推移

(単位:百万円)



2025年度上半期の業績

■ 自己資本比率の状況

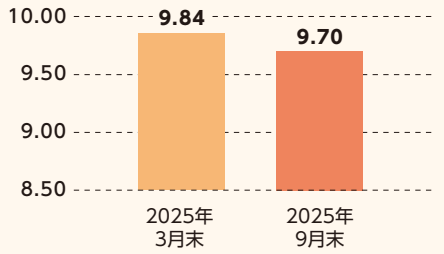
金融機関の健全性を示す重要な指標の一つである自己資本比率は、国内で営業する金融機関の基準（国内基準）である4%を大きく上回っており、高い健全性を維持しております。

（単位:百万円、%）

項目	2025年3月末	2025年9月末
コア資本に係る基礎項目の額	18,626	19,616
コア資本に係る調整項目の額	171	189
自己資本の額	18,455	19,426
リスク・アセット等の額の合計額	187,419	200,085
自己資本比率	9.84	9.70

注：自己資本比率の算出方法を定めた「信用金庫法第89条第1項において準用する銀行法第14条の2の規定に基づき、信用金庫及び信用金庫連合会がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準（平成18年金融庁告示第21号）」に基づき算出しております。なお、当金庫は国内基準を採用しております。

●自己資本比率



■ 不良債権の状況

金融再生法に基づく不良債権額の合計額は40億円となりました。このうち35億円が担保・保証及び引当により保全されており、その合計額に対する保全率は88.6%となっております。

なお、これとは別に内部留保による積み立てを行っておりますので不良債権への備えは万全です。

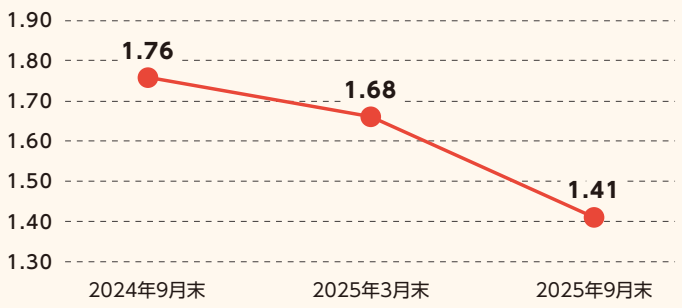
●金融再生法開示債権及び不良債権比率の推移

（単位:百万円、%）

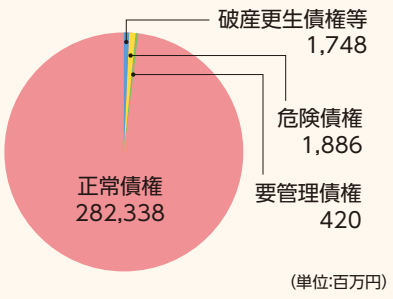
	2024年9月末	2025年3月末	2025年9月末
破産更生債権等	1,702	1,800	1,748
危険債権	2,287	2,147	1,886
要管理債権	412	467	420
正常債権	245,086	257,656	282,338
金融再生法開示債権合計	249,487	262,072	286,394
不良債権比率	1.76	1.68	1.41

注1：2025年9月末の「金融機能再生のための緊急措置に関する法律施行規則」第4条に規定する開示金額は、全債務者の債務者区分を当金庫の定める自己査定基準に基づき2025年8月末を基準として見直しを行い開示しております。なお、2025年8月末から9月末までに倒産・不渡り等の客観的な事実並びに債務者区分の引き下げ等があった債務者については必要な修正を行い、反映しております。
注2：「破産更生債権等」の金額は、債務者区分でいう破綻先及び実質破綻先に該当する債務者に対する債権の合計額です。なお、半期中の償却・引当見込額、回収額及び担保処分見込額の増減額を反映しております。
注3：「危険債権」の金額は、債務者区分でいう破綻懸念先に該当する債務者に対する債権の合計額です。
注4：「要管理債権」の金額は、債務者区分でいう要注意先に該当する債務者に対する貸出金のうち、貸出条件を緩和している貸出金及び3ヵ月以上延滞している貸出金の合計額です。
注5：「正常債権」の金額は、債務者の財政状態および経営成績に特に問題がない債権であり、「破産更生債権等」「危険債権」「要管理債権」以外の債権の合計額です。

●不良債権比率の推移



●2025年9月末の金融再生法に基づく開示債権



2025年度上半期の業績

■ 有価証券の時価情報

●満期保有目的の債券

(単位:百万円)

	種類	2025年3月末			2025年9月末		
		貸借対照表計上額	時価	差額	貸借対照表計上額	時価	差額
時価が貸借対照表計上額を超えるもの	国債	—	—	—	—	—	—
	地方債	32	33	0	27	28	0
	その他	600	646	45	600	625	25
	小計	632	679	46	627	653	26
時価が貸借対照表計上額を超えないもの	国債	7,275	6,654	△ 620	7,288	6,564	△ 723
	地方債	11,989	11,334	△ 654	11,986	11,242	△ 744
	その他	—	—	—	—	—	—
	小計	19,264	17,988	△ 1,275	19,275	17,807	△ 1,468
合計		19,897	18,668	△ 1,228	19,903	18,461	△ 1,442

注1:時価は、期末日における市場価格等に基づいております。
注2:上記の「その他」は外国証券です。
注3:市場価格のない株式等及び組合出資金は本表に含めておりません。

●その他有価証券

(単位:百万円)

	種類	2025年3月末			2025年9月末		
		貸借対照表計上額	取得原価	差額	貸借対照表計上額	取得原価	差額
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの	株式	177	138	38	367	268	99
	債券	158	147	11	57	47	9
	国債	100	99	0	—	—	—
	地方債	—	—	—	—	—	—
	社債	58	47	11	57	47	9
	その他	4,541	4,241	299	9,045	8,303	742
	小計	4,876	4,527	349	9,470	8,619	851
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの	株式	246	287	△ 40	131	142	△ 10
	債券	37,413	41,751	△ 4,337	41,215	45,819	△ 4,603
	国債	3,704	3,844	△ 140	5,271	5,447	△ 176
	地方債	22,869	26,513	△ 3,644	20,349	24,223	△ 3,874
	社債	10,839	11,393	△ 553	15,595	16,148	△ 553
	その他	22,602	24,944	△ 2,342	18,596	20,156	△ 1,559
	小計	60,262	66,983	△ 6,720	59,944	66,118	△ 6,174
合計		65,139	71,511	△ 6,371	69,414	74,737	△ 5,323

注1:貸借対照表計上額は、期末日における市場価格等に基づいております。
注2:上記の「その他」は外国証券等です。
注3:市場価格のない株式等及び組合出資金は本表に含めておりません。

●市場価格のない株式等及び組合出資金

(単位:百万円)

	2025年3月末	2025年9月末
	貸借対照表計上額	貸借対照表計上額
非上場株式	120	120
信金中央金庫出資金	2,512	2,512
組合出資金	2	4
合計	2,635	2,637

■ 金銭の信託の時価情報

該当ありません。